

広報

ときめき きらめき いきいきを伝える



関市イメージキャラクター
「関っはもみん」

Seki

せき

2014

4

No.1638

特集

こだわりの原点……P4

TOPICS

<特集>関シティターミナル…P2

関まつり開催…P6

西部地区・洞戸地域複合施設愛称決定…P12

お知らせ…P18

健康情報…P28

文化会館・図書館…P29

未来のモノづくりを担う若者たち（関商工高等学校）

平成26年4月1日

オープン

照会先 市民協働課 ☎23-6831



待合所

(午前5時30分～午後11時30分)
※始発・最終時刻により変更すること
もあります

▶バス案内所

平日:午前9時30分～午後6時
土曜日:午前9時30分～午後5時30分
日曜・祝日:休み
バス利用案内、回数券、ICカードの販売など

▶観光案内コーナー

観光情報
特産品販売

▶駐輪場

▶長良川鉄道関駅
西側ホームとの
連絡通路



長良川鉄道 関駅

各務原市方面→

新しい関市の玄関口

関シティーターミナル



関駅西口駅前広場「関シティーターミナル」が、いよいよ完成しました。関シティーターミナルは、美濃加茂市から郡上市までを走る長良川鉄道関駅に隣接・連結しており、高速バス、都市間バス、コミュニティバス、デマンドバスの乗り継ぎ拠点としてたいへん便利な関市の新しい玄関口となります。ぜひご利用ください。

緊急時 一時避難所

- ▶ 飲料水用貯水槽
(地下埋設)
- ▶ 防災資機材備蓄倉庫
- ▶ マンホール式トイレ



駅前広場

- ▶ バス乗降場
関シティーバス、
高速バス、都市間バス
- ▶ タクシー乗降場
- ▶ 一般車両乗降場
- ▶ 太陽光発電式照明灯
- ▶ モニュメント

有料駐車場

- ▶ 利用案内
- 3 時間以内……………無料
- 3 時間を超え 2 4 時間まで
……………2 0 0 円
- 2 4 時間を超える場合
……………2 4 時間ごとに
2 0 0 円加算



←美濃市方面

世界的な産地として名高い「刃物のまち関市」。刀鍛冶から継承される“モノづくり”の精神と技術は、現在の関市の産業を支えています。優れた技術を持つ企業の“モノづくり”にかけの思いを取材しました。



同社の「ナイフ博物館」では、ナイフの歴史やコレクションの展示のほか、刃物の研ぎ方やナイフ作り講座なども開催しています。「オープン当時、ナイフは危険なものというイメージが根強かった。生活に欠かせない道具である『刃物』の魅力を伝えるという役割を博物館が果たしてきたと思う」と振り返ります。「刃物の使い方を正しく伝えるのは、われわれナイフメーカーの**使命**だ」刃物に携わる職人の心意気を垣間見ました。

取材した企業

- ①(株)ガーバーサカイ
ナイフ製造 志津野
- ②(株)フレッシュ
洋菓子製造 東新町
- ③(株)ナガセインテグレックス
工作機械製造 武芸川町跡部
- ④(株)D Art
工業デザイン・企画・設計 広見

1 (株)ガーバーサカイ

1「使命」

刃物産業のけん引役として業界をリードする企業、ガーバーサカイのこだわりは「品質」。厳選した素材で優れたデザインや機能を備えた質の高いナイフを量産するために、機械生産にひと手間の手作業を加えるそうです。



昭和 62 年にオープンしたログハウスの建物は、関市の観光スポットとして多くの人が訪れます。

2 (株)フレッシュ

フランス語で「新鮮」という意味を持つ言葉「フレッシュ」。主にケーキなどの洋菓子を製造するメーカーとして「食の安全」にこだわりぬき、徹底した衛生管理、品質管理を貫いています。大手コンビニチェーンのスイーツや業務用冷凍ケーキを手掛ける同社の強みは開発力。自社目標はなんと年間 170 品の新商品を世に送り出すこと。



工場内の直販店「洋菓子店フレッシュ」では、人気の「関ぶりん」をはじめ、おいしいケーキを販売しています。夢は2号店を出店することとか・・・



熾烈なスイーツ市場を勝ち抜くための秘密は現場の「**カイゼン**」活動にありました。ニーズを的確に捉え新商品を開発しながらも、生産性とコストメリットを向上させるため、現場は改善を怠りません。「お腹がいっぱいになった後に、もうちょっと食べようかなと選んでもらうためには新しい発想が必要」と社長談。「フレッシュ」の新商品は今日も大手のコンビニのスイーツコーナーをにぎやかに飾ります。

3 「超精密」 株ナガセインテグレックス

「世の中にないものは、自分で作ればよい…」 創業者のモノづくりに対する精神はナガセインテグレックスの社風となって今に受け継がれています。同社のこだわりは「**超精密**」。1ナノメートルをコントロールすることにかけて世界一の技術レベルを誇ります。

「満足だけでなく感動を与える機械を作りたい」という、熱い思いが感じられました。



“夢工房”と名付けられた工場内は、1/100度単位の温度管理がなされた、まさに夢の工場。



世界中のどこにもまねできない超精密研削技術は天文台の巨大望遠鏡のレンズなどにも生かされています。こうした技術を支える秘密は社内のスタッフにありました。例えば、社員による研究レポートを掲載した技術雑誌を年2回発行。日頃の研究成果を報告することで日々研鑽を重ねています。こうした努力によって最先端技術は蓄積され、世界ナンバーワンの「超精密」の根底を支えているのです。



株D Art

4 「革新」

「時代は“製品力”を求めている」一見、研究所のような工場で語る社長の後ろには見たことのないクルマが……。大手自動車メーカーからも注目を受ける同社は未来の自動車を形にしました。それが発電機搭載型EV「D-FACE」。おしゃれさと機能性を兼ね備えたフロントドア。1回の充電で世界最長150kmの走行が可能なハイブリットエンジン。この車がまちを颯爽と走る日は近いのかも。

「世の中にないものを作り出すこと」D Artのモノづくりへのこだわりは車にとどまりません。三輪バイクや自転車のほか、高齢者用の杖、介護用のいす、カーボン製軽量車いす、車の形のカバンなど。**革新**（イノベーション）を形にする未来志向の企業D Artの次なる夢は、「ロボット」を創ること。



池尻に建設中の新工場で、新たな事業展開を図る。



表紙写真は関商工高校の生徒たちです。未来の関市のモノづくりを担う若者たちの目は希望に輝いています。

関市の“モノづくり”を体感できる企業展

ビジネスプラス展inSEKI

約50社の企業が参加し、優れた技術力や高品質な製品づくりなどを発表します

- ◆期日 6月27日(金)・28日(土)の2日間
- ◆会場 関市文化会館・小ホール、ホワイエほか
- ◆主催 関市、関商工会議所、関信用金庫
- ◆照会先 商工課(☎23-6752)